

令和2年度 第3回 学校運営協議会まとめ

大阪府立泉北高等支援学校

- 【1】 実施日時 令和3年1月15日（金）午後3時30分～午後5時
- 【2】 実施場所 集会室
- 【3】 出席委員 田村 仁彦氏（元堺市立上神谷支援学校 校長） 協議会会長
八田 忠敏氏（元社会福祉法人コスモス理事長） 会長代理
松林 利典氏（堺市障害者就業・生活支援センター センター長）
井上 直子氏（堺市子ども相談所 参事）
島村 俊樹氏（堺市立上神谷支援学校校長）
伊庭 裕美氏（大阪府立泉北高等支援学校 PTA 会長）
- 【4】 内 容
 - ① 開会(教頭)
 - 配布資料を確認
 - 本日の協議会の成立を確認
 - ② 校長挨拶
 - ③ 会長・委員自己紹介
 - ④ 協議
 - (1) 「令和2年度学校経営計画」について資料をもとに説明
 - 1 生活自立コース、社会自立コース、就労支援コースの教育課程等の充実を図る。
 - (1) 教育課程の改善
作業部会により作業学習の内容について改善を図った。個別の教育支援計画について学期初めの目標設定と学期末の適切な評価が実施できた。研究授業を実施し、評価の観点を共通理解できた。
 - (2) 職業に係る授業を通じ、生徒のチャレンジする意欲を育む。
各コースで卒業後を意識した授業が実施できなかったため、キャリア教育の視点を踏まえた授業づくりが課題である。新たな実習先を5か所以上開拓し、9月、2月に校内実習実施。
 - (3) 個別の教育支援計画、個別の指導計画等の充実を図る。
1・2年生の個別の教育支援計画の様式に変更した。3年計画で変わっていく予定で、来年度3学年新様式の個別の教育支援計画になる。来年度も、保護者からのご意見も踏まえて改定していく卒業より良い支援を受けれるようにしっかり運用できるようなものを作成していく。また、

上神谷支援学校からの引継ぎをしっかりと行い、コーディネーターを通して連携を図っていく。

2 支援教育力の向上

- (1) 日々生起する生徒指導事象について校内で情報共有するとともに、阪大教授を招いた事例検討会を2回実施した。大阪府警から講師を招き、SNSトラブルについて研修会を実施した。「ライフスキル」シラバスの試行実施。
- (2) コロナ禍で堺市立小・中学校訪問実施できなかった。関係機関合同会議コロナの影響により、企業・作業所等の説明会は実施できなかった。また、福祉の各関係機関と在学中から連携を深めていく必要がある。
- (3) ICT活用研修を2回実施各学年で情報モラルについて学習を行った。公務分掌におけるICT活用、教科フォルダへの教材の共有を図った。

3 安心で安全な学校環境づくり

- (1) 日々の健康チェック表の回収により、手洗い・うがい励行、日々の健康チェックができた(○)・人権研修は講師の意向で2月に延期したが実施できた。
- (2) 防犯防災・安全に関する授業及び防犯訓練実施できなかった。PTA防災訓練実施。生徒の2次避難場所を設定した。
- (3) コロナ渦により参加が減少した。いじめ対策委員会を2回開催した。

- 意見
- ・アンケートの回収率が上がっているのは良かった。
 - ・コロナ渦で学校の中の様子があまりわからないので、HPなどを通してもっと発信してほしい。
 - ・保護者はコロナ渦ではあるが、参観をしたいという強い願いを持っている。
 - ・コロナ渦では、あるがクラスの保護者同士がつながるICTの利用をかんがえてほしい。
- 今後、対策を考えていきたい。
- ・本校と上神谷支援学校の地域支援の連携が今後も深まってほしい。

⑤ 会長（まとめ）

保護者・生徒本人が地域の中でつながりが少ないコロナ渦ではあるが学校としてできることを考えてほしい。保護者同士の集いがないので辛い。上神谷支援学校のHPのように、泉北高等支援学校のHPについてももっと発信してほしい。

⑥ 校長より謝辞

⑥ 事務連絡

次回の日程について、日程を調整して連絡。